【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公開番号】特開2009-147644(P2009-147644A)
【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)
【年通号数】公開・登録公報2009-026
【出願番号】特願2007-322426(P2007-322426)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/393　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/387
Ｇ０６Ｔ　1/00　３４０Ａ
Ｈ０４Ｎ　1/393

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月26日(2010.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像データから複数の顔画像を認識する顔認識手段と、
前記顔画像の位置を取得する取得手段と、
隣接する前記顔画像の位置に基づいて、前記顔認識手段により前記顔画像が認識されなかった領域を検出する検出手段と、
前記検出された領域を並べて表示装置に表示させる表示制御手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記顔画像の位置にしたがって前記顔画像および前記領域のレイアウトを決定する決定手段をさらに備え、
前記表示制御手段は前記レイアウトにしたがって前記顔画像および前記領域を並べて前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項１記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記表示制御手段は前記領域を前記顔画像と区別して前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項１または２記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記顔認識手段は複数の条件の全てを満たす領域について顔画像として認識し、前記条件の一部を満たした領域を顔候補画像として登録する登録手段をさらに備え、
前記検出手段はさらに前記登録手段に登録された顔候補画像にしたがって前記検出を行うことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記表示制御手段は前記領域を所定の倍率で拡大して前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記表示制御手段は前記領域を互いのサイズが等しくなるように調整して前記表示装置

に表示させることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項７】
前記領域の位置にしたがって前記領域のグループを作成するグループ作成手段をさらに備え、
前記表示制御手段は前記グループ毎に前記領域を前記表示装置に表示させることを特徴とする請求項１乃至６のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記領域の数を計測する計測手段をさらに備え、
前記領域の数が所定の数より大きい場合に、前記グループ作成手段は前記グループを作成することを特徴とする請求項７記載の画像処理装置。
【請求項９】
前記検出手段は、前記隣接する顔画像の距離が、前記距離の平均よりも大きいとき、前記領域を検出することを特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
画像データから複数の顔画像を認識するステップと、
前記顔画像の位置を取得するステップと、
隣接する前記顔画像の位置に基づいて、前記顔認識手段により前記顔画像が認識されなかった領域を検出するステップと、
前記検出された領域を並べて表示装置に表示させるステップとを備えたことを特徴とする画像処理装置の制御方法。
【請求項１１】
コンピュータに
画像データから複数の顔画像を認識するステップと、
前記顔画像の位置を取得するステップと、
隣接する前記顔画像の位置に基づいて、前記顔認識手段により前記顔画像が認識されなかった領域を検出するステップと、
前記検出された領域を並べて表示装置に表示させるステップとを実行させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記目的を達成するために、本願第１の発明の画像処理装置は、画像データから複数の顔画像を認識する顔認識手段と、前記顔画像の位置を取得する取得手段と、隣接する前記顔画像の位置に基づいて、前記顔認識手段により前記顔画像が認識されなかった領域を検出する検出手段と、前記検出された領域を並べて表示装置に表示させる表示制御手段とを備えたことを特徴とする。